

# 未来へつなぐ架け橋 ～町民の安心・安全を守るために～

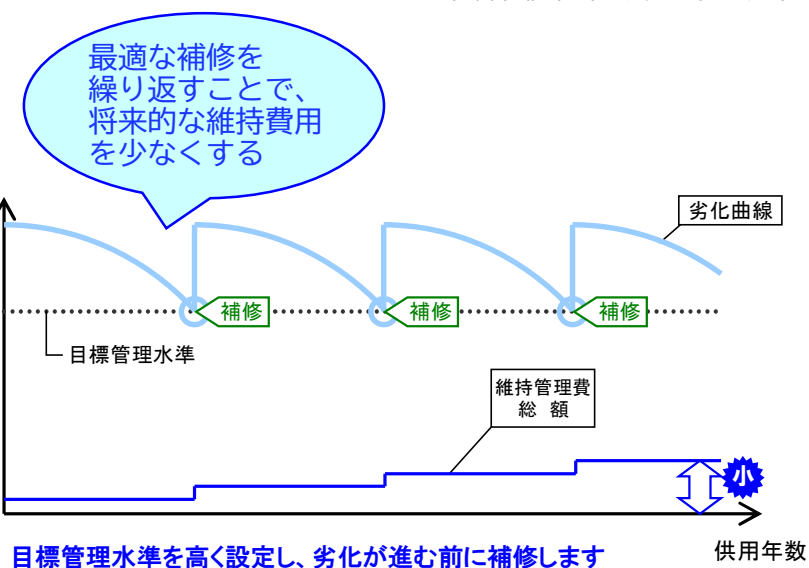
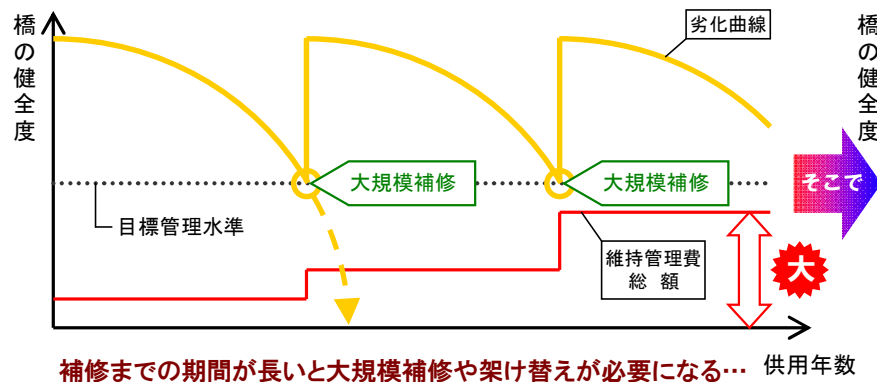
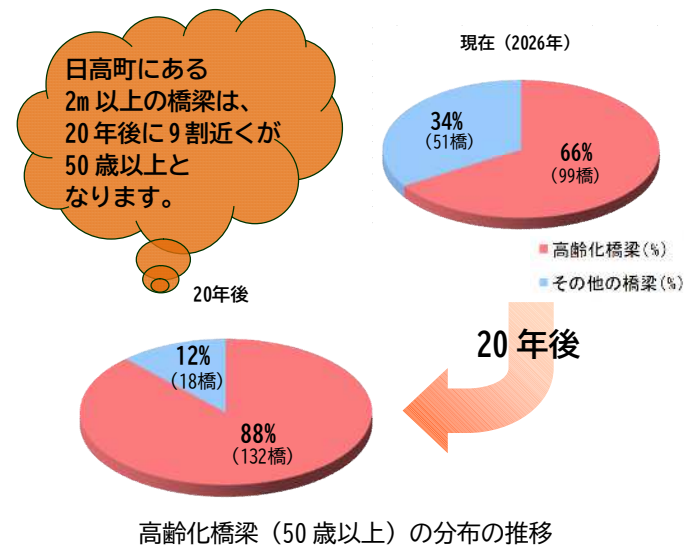
—日高町の長寿命化修繕計画は橋梁の良好な保全を目的としています—

日高町内には現在、管理対象とする2m以上の橋が150橋あります。これらのうち建設後50年を経過した高齢化橋梁は全体の66%（99橋：推定含む）を占めており、20年後にはこの割合が88%（132橋：推定含む）に増大します。

この度、「将来にわたり橋梁を保全し、きめ細やかな地域道路ネットワーク機能を維持する」ことを目標とした「橋梁長寿命化計画」を更新しました。費用のかかる架け替えが一時期に集中しないように、予算の平準化と財政負担の低減に引き続き努めながら、効率的かつ効果的な維持管理を行うものとしします。

令和2年度の定期点検の結果を基に、4橋の修繕を計画的に行うことが出来ました。さらに5年後の令和7年度には3回目の定期点検（150橋）を完了して、損傷が進行している橋梁を確認しており、これらの橋梁も計画的に修繕するものとしします。

皆さんがいつも使う「はし」がこれからも未長く生き延びることが出来るよう、町民のご理解も頂きながら、これからも事業に取り組むものと考えております。



## 日高町が定めた橋梁長寿命化修繕計画での基本方針

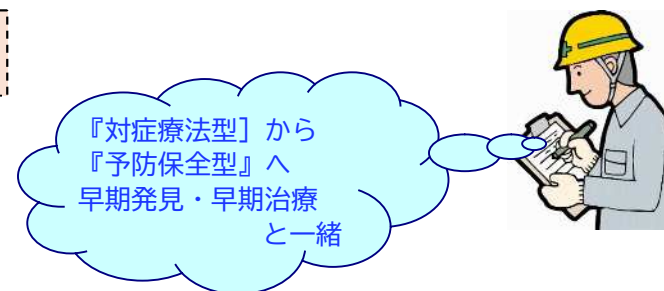
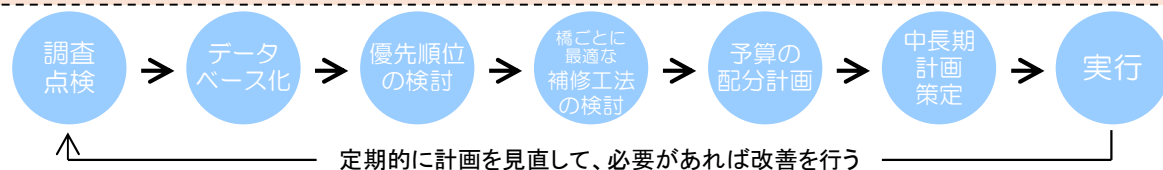
### メンテナンスサイクルの構築と持続的な取組み

マネジメントサイクルの考え方をより実行可能なものとするため、「点検～診断～措置～記録」を確実に実行することで、メンテナンスサイクルの持続的発展を目指します。

### 橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減への取組み

従来の対症療法的な修繕から予防的修繕への転換を目指した「日高町橋梁長寿命化修繕計画」では、定期点検の結果から適切な措置を決定するとともに、短期計画の定期的見直しを基に「定期点検・調査設計・補修工事」などを確実に実行することで、費用縮減の実現を目指します。

橋ごとに調査を行い、橋梁の健全性のほか、橋梁が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等を考慮しながら、対策を実施する際の優先順位を定め、実行します。



### 日常的な予防保全への取組み

道路パトロール等により異常の早期発見に努め、利用性に直結する変状（路面の段差、高欄の変形、土砂の詰まり）に対する健全性回復を積極的に対応します。また、地域協働を通じた路面の清掃等といった軽微な維持管理の実現に向けた可能性を検討します。

### さらなるコストの縮減を目指した、新技術等の活用及び集約化・撤去への取組み

点検・修繕等での新技術等の活用を検討し、令和12年度までに2～3橋程度での導入・採用により約3%のコスト縮減を目指します。また、迂回路が存在し集約が可能な橋梁については、令和12年度までに1橋を対象とした検討を行い、約2%のコスト縮減を目指します。